

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191500042		
法人名	株式会社ケアフルケア		
事業所名	グループホームせせらぎ		
所在地	佐賀県西松浦郡有田町応法丙3902番地		
自己評価作成日	平成 31年 4月 9日	評価結果市町村受理日	令和1年11月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号		
訪問調査日	平成 31年 4月 25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開所より続けている『介護サービス理念』の唱和、朝礼で欠かさず行っています。理念に添った介護を目指し、目標設定に組み込む職員もいます。また、利用者様の生活(余暇)を考え、畑を整備して一緒に作物を育てたいと思い始めた職員ができました。少しの時間でも利用者様についてカンファレンスを行い生活の質について、考えてきた結果と思います。これからも、利用者様の生活を考え、家族様に安心をお返ししていけたらと思います。また、地域交流として、地区のお祭りに参加し楽しむ事が出来ました。施設のお祭りにも、地区の方をお迎えし地域の一員であるように取り組み続けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは溪流沿いにあり、閑静で木々に囲まれて春はウグイスのさえずりが聞こえ、窯元が立ち並ぶ通りの端に位置している。上流には有田ダムがあり、入居者の生活歴を想起できる環境にある。地域の祭りに参加し、ホームの祭りには地区の方を招待して、交流促進に取り組んでいる。災害時の対応として、町内3つのグループホーム間で避難・支援体制の訓練を、避難経路マップを作成し、課題の提起と改善を職員間で共有して取り組んでいる。また、ホームを災害時の地域の避難場所と想定し、資材備蓄倉庫を地域の方が利用できるようにして信頼感の醸成に努めている。職員の資質向上として、「介護サービス理念」に基づく自己目標を毎月立てて、振り返りと目標の再立案を行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印			項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
	黒髪	龍門			黒髪	龍門	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	介護サービス理念・施設理念の唱和を朝礼で欠かさず続けています。個人目標に組み込み、理念に沿った介護を行い、振り返りを一か月毎に実施しています。	毎朝の朝礼時、介護サービス理念・施設理念を唱和。	理念を玄関に掲げ、理念に沿った職員個人の目標を立て、実行・振り返りを毎月行っている。できることから行うという姿勢が、職員の動機付けを高めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域のお祭りやおくんちへ参加し、陶器市にも出かけています。ご近所へ散歩に出て、顔馴染みの関係を作っています。	地域でされている「おしゃべり喫茶」や、陶器市見学、行きつけの美容室へ外出され、馴染みの関係を作っています。	地域の祭り(皿踊り)の訪問を受け入れ、ホームの祭りにも地域の方を招待し交流を図っている。入居者の散歩時も職員が同行し、近所の方との会話を促進するよう配慮している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や掲示板を理解して頂けるよう努めています。また、町からの依頼で認知症サポーター養成講座を小学生対象で行いました。(キャラバンメイト)	運営推進会議にて地域の方に報告と、町からの依頼で認知症サポーター養成講座を小学生対象で行いました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	各月のユニット毎の行事や出来事、健康状態、入所・退所の状況、事故報告など行いながら活かしています。意見が出たことに関しては、会議等で話し合うようにしています。	各月のユニット毎の行事や出来事、近況報告等の報告を行っています。意見が出れば話し合いをしています。	地域・家族・行政の方々の意見・質問・要望を受けている。それらに対し、ホーム内で話し合って実行し、振り返りを行っている。次の会議で報告し、サービス向上に努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	二か月に一回の運営推進会議に参加して頂き、意見交換をしています。また、町主催の研修等には積極的に参加し、交流を図るよう努めています。	二か月に一回の運営推進会議に参加して頂いています。研修等には積極的に参加し、交流を図るよう努めています。	主に運営会議等の場で、ホームの近況報告を通じて情報交換を行っている。必要に応じて、町内のグループホーム間の意見交換の場で協力関係を築くよう努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間の戸締り以外は、常時自由に出入りが出来るようになっています。	日中は常時自由に出入りが出来るようになっています。夜間は、施錠しています。	施錠は夜間のみで、身体拘束はない。年に2回勉強会を開き、入居者の言動や特徴を共有したり、グループワークを行い、リスクの軽減に努めている。また、地域住民への理解を得られるよう、努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部の研修や施設内研修に参加し、虐待とは？の理解の徹底を図るとともに、職員が対応などで不安がある時は、早めに対応し虐待に繋がらないよう努めています。	外部の研修や施設内研修に参加し、虐待とは？の理解の徹底を図るとともに、職員が対応などで不安がある時は、早めに対応し虐待に繋がらないよう努めています。		

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などに参加し、理解・活用できるように努めています。	研修などに参加し、理解・活用できるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明し、納得し安心して頂けるように努めています。	契約時説明し、納得し安心して頂けるように努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様は面会時に、意見・要望など職員へ伝えられております。運営推進会議に家族会の代表が参加され、意見を頂いています。家族会の企画として、家族様も一緒に温泉旅行に出かけました。	面会時や電話で要望や意見を職員へ伝えられる事はあります。運営推進委員会へも家族様の参加がありその場でも意見や要望を聞いています。家族会の企画で温泉へも出掛けました。	意見要望については、年に1回の家族会や、日頃の面会、遠隔地の方へはハガキなどで要望を出してもらっている。出された意見は、職員で話し合い結果を反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフが意見・提案しやすい環境を作り、個人とも一か月毎の意見交換を行っています。(各個人ファイル)	全体会議や朝の朝礼などで意見交換の場を設けています。	年に1回の個人面談や、ユニット毎に月1回の会議で話をしている。その都度、個人目標や業務についてなど、意見や要望を聞き反映しており、今後も努めるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社会保険労務士に依頼し、給与水準や仕事の出来栄えなど、振り返りもして頂きながら、やりがいや昇給に繋がるシステムを導入しています。	社会保険労務士に依頼し、給与水準や施設内研修に参加毎の出来栄えなど、振り返りもして頂きながら、やりがいや昇給に繋がるシステムを導入しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修には積極的に参加してもらっています。研修内容は、資料を見せ合い、情報共有しケアの質の向上に努めています。	施設内外の研修参加を進め、個人の希望や管理者の要望にて職員の力量も考慮し研修参加しています。また、個人目標を掲げ毎月自己評価しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設内研修には、町内のグループホームより参加して頂きました。	施設内研修には、町内のグループホームも参加して頂きました。また、町内の福祉施設や病院の研修会へ参加しています。		

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価		
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面会時に、ご本人の要望・希望をお聞きし、安心して入所して頂けるように努めています。	本人様の要望はもちろんの事、家族様やご兄弟などへも要望を確認し可能な限り希望を叶える努力をしています。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前より、ご家族の思いをしっかりと聞きし自分たちがご家族の支えになれるよう、そしてケアにつながるよう努めています。少しでも、気持ちが楽になられるようにと思っています。	家族様の今までのご苦労や経験をしっかりと受け止め、少しでも家族様の思いが利用者様に届くように努めています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今必要なサービスや援助を十分に検討したうえで、相手にとって一番いいサービスができるよう、柔軟な対応に努めています。	カンファレンスを行い、必要なサービスの実施と経過を見極め、利用者様にとって本当に必要なかを把握し家族様とも話し合い検討しています。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	相手の立場に立った介護ができるように、日頃から努めています。	利用者様の自分でしたくても出来ない悔しさを考え、相手の立場に立った介護が出来るように努めています。			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様とご家族の絆を支えるのが、介護する側の務めと思います。自分達は脇役であり、生活支援者です。自宅にいるような生活を支援していきたいと思います。	利用者様に体調変化が見られれば些細な事でも連絡して情報を伝えるようにしています。少しでも現状をお伝えする事で共に支えて頂ける関係を作っています。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の馴染みの店や家、信仰される施設へも出かけました。ご家族とも相談しながら、可能な限り行っています。	理容面で昔から通われておられた美容室へお連れしています。美容室のスタッフ様も久しぶりに会えた事で喜ばれておられます。	気分的な刺激を得られるよう、これまで信仰されているお寺や、積極的に馴染みの場所への外出支援を行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご本人の代弁者となり、関係性を作ったり・継続する支援を心がけています。共同スペースのリビングは、利用者様の関係など見ながら、席の配置換えを行っております。	その日の体調や気分などで関わり方が変化します。職員はその時の雰囲気を感じ取り関係性がこじれない様に利用者様の間に入りコミュニケーションを図っています。			

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	出来る限り、相談・お手紙・年賀状にて支援につとめております。野菜や果物を届けてくださるご家族様もいらっしゃいます。	町内でお会いするときは挨拶をしてお話させていただいています。野菜など届けて下さってくれる家族様もいます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中での、ふとした言葉などから思いや希望を読み取り、家族様へも相談し、担当者を中心に検討・実行しています。	利用者様との会話の中から思いを汲み取り、少しでも希望が叶うよう家族様へ連絡・相談して実行しています。	声掛けや、仕草などを通じて、意向を把握し、出来る能力を活かせるように、把握した意向は介護計画に反映できるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントをとり、足りてない部分を把握しカンファレンスを行いケアの質の向上につなげています。	情報提供表やアセスメント表より生活環境を把握しカンファレンスを通してスタッフ間での情報共有を行い、統一したケアを心掛けています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別申し送りやケアプラン実行表に記入し、情報共有につとめています。	日々の個別申し送りやケアプラン実行表からサービスの経過を把握する。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスやユニット会議で、ご本人・家族の意見を尊重し、作成に努めています。	課題についてユニット会議で話し合い、担当者が中心となり家族様や関係者各所へ連絡や相談を行い介護計画を立てています。	アセスメントの結果をユニット会議で話し合い、本人、家族、その他関係者と連絡相談を行い、介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別申し送りやケアプラン実行表に記入し、情報共有につとめています。重要だと思う内容は、赤で記入しています。	個別申し送りやケアプラン実行表に記入し情報共有を図り統一したケアを行っています。また、職員用の掲示板を活用し重要項目は忘れられない様子を付けています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出や外泊の際の支援、入所時は必要に応じて対応しております。家族様の面会時は送迎のお手伝いをしています。	外出や外泊のお手伝いについて必要に応じて対応しています。急な外出希望があっても職員間で話し合い希望が叶うよう柔軟に対応しています。		

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご自宅や馴染みの場所への外出、料理の内容で外食するお店を選んでいただいたり等、支援しております。	地域でしている「おしゃべり喫茶」へ出掛けられ顔なじみで近所の方々の会話を楽しまれ昔話に花を咲かされています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までのかかりつけ医を継続し、安心して医療が受けられるよう支援しています。	かかりつけ医は継続しています。	入居者の状況を把握し、本人希望のかかりつけ医に毎週報告している。訪問診療や受診時には家族の支援であるが、必要に応じてホーム職員の付き添いも行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の中で、変化・気づきがあれば、その都度看護師へ報告し、指示をもらうようにしています。	体調変化や気づきがあれば、看護師へその都度、連絡・相談し指示を受けるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域連携室との連絡を密にし、情報交換をするよう努めています。また、入院中はこまめに足を運び、状態把握・早期退院できるよう努めています。	地域連携室との連絡を密にし、情報交換をするよう努めています。また、入院中はこまめに足を運び、状態把握・早期退院できるよう努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所中の段階で、ご家族またはご本人の希望をお聞きするようにしています。重度化や終末期になった際も、何度も意思を確認しながらご家族と一緒に支えていけるよう努めています。	入所中の段階で、ご家族またはご本人の希望をお聞きするようにしています。重度化や終末期になった際も、何度も意思を確認しながらご家族と一緒に支えていけるよう努めています。	入居者や家族の判断を尊重している。看取りについては、ホームでも行い、電話などで悩みについても相談に応じている。自宅での看取りなど、話し合いを重ね、支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	現場でその都度、指導しています。	現場でその都度、指導しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防・避難訓練2回、災害避難訓練1回行いました。持ち物チェックリストを用いて、物品確認をしました。	消防・避難訓練2回、災害避難訓練1回行いました。持ち物チェックリストを用いて、物品確認をしました。	夜間を含めた避難訓練を定期的に行い、町内3グループホーム間の支援訓練では、避難ルートマップ作成で課題を見つけ改善している。備品倉庫は、近隣の方も利用できるように周知している。しかし、地域住民の応援が想定した避難訓練はこれからである。	地域住民との具体的な協力体制づくりに期待したい。

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	相手を尊重した言葉かけは、日常から心がけています。時には身振り手振りを交えて、伝えることもしています。	基本理念の下、言葉掛けには日常から細心の注意をしています。相手を尊重した言葉掛けは当然の事、相手を不安にさせない言葉掛けにも注意をしています。	入居者のプライドを尊重した言葉かけや、声のトーンに配慮するなど、入居者の状態に応じた対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択できる環境を作るように心がけています。日頃から、思いや希望を、細かいことでもきちんと聞くように努めています。	最期まで本人様のお話を聞き取り、ご自分で選択し決定して頂ける関わり方や言葉掛けをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースを把握することに努め、その方の生活を守り、また、個別の対応を出来るだけ行うようにしています。	日々の生活を把握して、自室で過ごしたい方		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時は、髪を整えたり、お肌の手入れのお手伝いをしております。服は、ご本人にお見せし、選んで頂けるように努めています。	起床時は、洗面・整髪して頂いてます。服も季節に応じて対応していません。男性の利用者様は、ひげそり行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おかずのつぎわけや、育てたネギを切っていただいたり、おやつ作りを一緒に行いました。	おかずのつぎわけや、夕食作りで巻き寿司行いました。苦手な食べ物に関しては、取り除いたり代替えで対応しています。食器拭きもして頂いてます。	料理から配膳、食事、後片付けを入居者のできる範囲で手伝ってもらえるように支援している。また、たこ焼きなど入居者のリクエストにも応じるなど、食事を楽しむことができる支援支援に努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量や種類を記入し、不足されている方には、ゼリーやアイスなど工夫して提供しています。	水分摂取量・種類を記入して把握しています。常にゼリー・フルーチェなど常備しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの言葉かけ、介助等を行っています。	食後の口腔ケアの言葉掛け行っています。就寝前には、義歯を外して休んで頂くよう言葉かけしています。		

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用いながら、排泄パターンを共有しトイレに座っていたりできるよう努めています。	排泄チェック表と排泄間隔を把握しながら、トイレを使用して頂くようにしています。	排泄チェック表などからパターンを把握するなど、個々人に応じた自立支援に努めている。また、声掛けの仕方など羞恥心にも配慮した誘導を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬だけに頼らず、乳酸菌飲料や果物など積極的に摂って頂けるよう努めています。	薬だけではなく、乳酸菌飲料・水分など摂って頂いています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそうした支援をしている	毎日入浴できるようにしています。夕食後も入浴の言葉かけをしています。	毎日入浴できるようにして、入浴の言葉かけをしています。夕食後に入浴希望される利用者様の為に言葉かけして入浴されています。	毎日の入浴することができ、時間帯は入居者の選択に沿って対応している。また、季節によって、ゆず湯や菖蒲湯をするなど、入浴を楽しめるような工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温・明るさの調整、希望あれば夜食の提供など行い、安眠を促しています。	本人様の好みの室温・照明の調整おこなっています。水分提供も行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬一覧をファイリングし、把握に努めています。変更があった時は、個別申し送りに赤で記入をしたり、ケースに注意書きしたり、確認をしやすいようにしています。	服薬一覧をファイリングし、把握に努めています。内服変更の際、記録に記入したり、内服ケースに服用開始日など注意書きをしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に合せた作業や、図書館の本を使用して読書を楽しんで頂いたりしています。個別支援を心がけています。	個人ひとりひとりに合った作業、裁縫や買い物外出・自宅外出など個人支援を心がけています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブに出て、桜や藤の花、紅葉見物など四季を感じて頂けるよう努めています。外出支援や食事など、ご家族の協力を得ながら支援しています。	ドライブや地域の行事、敬老会・陶器市見物・地区の夏祭りや夜出かけました。外食や自宅外出も家族様の協力を得ながら支援しています。	入居者の希望に沿って、散歩は日常的に行っている。お寺参りやドライブ、買い物は個別に支援し、安全の確保をしながら、個別の外出もすることができ、入居者の楽しみとなっている。	

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望がある際は、ご家族と相談しながら金銭の所持を対応するようしております。	本人様所持ではないですが、施設でお預かりさせて頂いています。本人様希望時、金融機関より引き出し本人様に確認して頂いたり、家族様来所時、残金確認して頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望があれば、スタッフが電話し代わったり、代弁するようになっています。年賀状をお送りした方もいらっしゃいます。	定期的にスタッフが電話して代わったり、遠方の兄弟様に手紙を送ったりしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じて頂けるよう、お花を飾ったり、鉢植えを飾ったり、掲示物を一緒に作成したりしています。食事の席の配置など工夫しています。	季節の花・野菜植え、リビング内には利用者様と共に壁飾り作成・季節の歌の掲示しています。お互い、不快にならないように、スタッフが間に入り過ぎて頂いています。	共有空間には絵や花、写真などを飾り、四季を感じることができる明るい雰囲気となるよう工夫をしている。また、清掃が行き届き、温度・湿度の調整も行うなど、居心地のいい空間づくりに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下の所々に椅子などを置いて、一息つける場所を作っています。	リビングルームにはソファを配置したり、廊下やデッキにも座って頂けるよう場所作っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時より、ご本人が使用されていたものをお持ち頂いております。電気ストーブなど持ってこられ、家を再現された方もいらっしゃいます。	入所時、今まで自宅で使われていたものをお持ち頂いています。箸・茶碗・湯呑など。	好みの絵や写真を自由に部屋に飾ったり持ち込みむことで、温かい雰囲気づくりに努めている。また、居者に合わせた物の配置をするなど、安全面と居心地のいい空間となるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり、椅子、歩行器、目線に合せた表示など工夫し支援しています。	自室の名札・トイレなど、本人様に合せて、表示しています。		